

平成22年度 決算説明書／事務事業評価シート

部局名	保健福祉部
課室名	生活支援課

予算	款	項	目	決算書	
	3	3	3	118	頁

目 名
母子福祉費

事務事業名称
児童扶養手当給付事業

1. 概要

目的	母子及び父子家庭の生活安定と自立支援	対象	18歳未満の児童を監護している母又は養育者
事業概要	<p>○児童扶養手当給付事業(児童扶養手当給付費国庫負担金)                  児童の福祉の増進を図るため、父又は母と生計を同じくしていない児童が養育されている家庭の生活の安定と自立の促進に寄与するために、当該児童を養育する者に支給する。</p> <p>延べ給付対象者数(母子:3960人、父子:239人)</p>		

臨/経	事業名	事業内容(主な経費等)	予算現額(千円)	決算額(千円)	財源内訳				評価
					国・県支出金	市債	その他	一般	
経常	児童扶養手当給付事業	児童扶養手当の支給 延べ対象人員:4199人 扶助費	159,662	159,258	52,635			106,623	3
		計	159,662	159,258	52,635	0	0	106,623	

## 2. 指標設定

成果指標	指標名	母子・父子家庭の自立		目標年度	—	指標の設定理由			
	数値	—				国の制度に基づく事業であり、母子、父子家庭の自立支援を目的としているため			
活動指標	指標	a	お知らせ	b	申請件数	c	通知書発送件数	d	給付
	数値	目標	—	目標	—	目標	—	目標	100%

## 3. 実績（上段・実績／下段・達成率）

成果指標名	単位	H20	H21	H22
母子・父子家庭の自立		—	—	—

活動指標名	単位	H20	H21	H22
a	お知らせ	—	—	—
b	申請件数	3,734 件	3,901 件	4,199 件
c	通知書発送件数	3,734 件	3,901 件	4,199 件
d	給付	1.4 億円	1.5 億円	1.6 億円

## 4. 課題と対応

課題
実態把握
対応（改善点等）
支給の適正化

## 5. 事業費・・・H20～H22（決算額）、H23（予算現額）

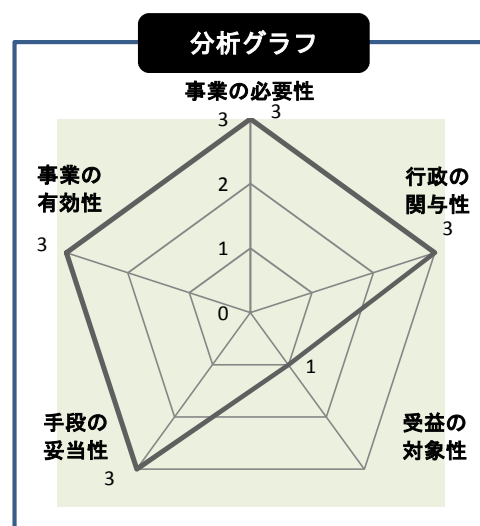
決算額（千円）		H20	H21	H22	H23
うち経常経費		142,824	147,536	159,258	174,845
財源内訳	国費	46,990	49,231	52,635	58,281
	県費				
	市債				
	その他				
	一般財源	95,834	98,305	106,623	116,564
うち経常		95,834	98,305	106,623	116,564
事業費に係る人件費		1,274	1,280	1,314	1,290

## 6. H24年度予算の方向性

方向性
増額
理由
年々増額傾向にあるが、対象者の経済的安定と自立支援のためには必要である

## 7. 担当課による分析

着眼点	分析	分析根拠
① 事業の必要性	必要性の再確認	3 国の制度のため
② 行政の関与性	責任領域の精査	3 法令等により定められているため
③ 受益の対象性	事業対象の確認	1 18歳未満の児童を監護している母子又は父子に限られているため
④ 手段の妥当性	活動指標の分析	3 目的達成のために適切な手段である
⑤ 事業の有効性	成果指標の判断	3 数値目標は設定していないが、事業の有効性は高いと判断できているため



## 8. 内部評価委員会評価（委員会評価）

事業の方向性	評価内容
継続	的確な実態把握に努めること